

小池市長4年間の重点政策 これまでの主な取り組みを報告します

2026年7月現在(数値は令和7年度実績)

問企画政策課政策推進係 ☎95-9865

小池市長が目指すまちづくりのための重点政策

- ① 夢や希望が描ける教育
- ② 喜びを感じる子育て
- ③ チャレンジできる経済・産業
- ④ 安心、安全な医療・福祉・介護
- ⑤ 命が守られる防災・減災
- ⑥ 誰1人取り残さない持続可能なまちづくり
- ⑦ 未来へつなげる行財政改革
- ⑧ 今ある課題への取り組み

①夢や希望が描ける教育

碧南版大学等奨学金返金支援制度の創設

令和8年度中の制度創設に向けて検討中

高校授業料の無償化(所得制限なし・公立高校授業料見合い分補助)

国の高等学校等就学支援事業補助金により実施

誰もが夢や希望を描けるための金融経済教室の実施

包括連携協定を活用し、出前講座に子ども向けや一般向けの講座をスタート

陸上・サッカーなど多目的施設検討会の設置

候補地の検討を実施



②喜びを感じる子育て

子を持つ親が安心して働くことのできる環境の整備

- ・市内で新たに小規模保育事業所(碧のこうさぎ保育園)開設
- ・第2へきなんこども園(現ユリアなわてこども園)の建て替え補助を実施
- ・伊勢町への民間認定こども園誘致のための公募を実施、整備事業者として社会福祉法人へきなん乳幼児福祉会を選定
- ・児童クラブ間の児童移送の開始
- ・児童館などにおけるランドセル来館の開始
- ・夏休みに子どものための学習施設(公民館)の開放

園、小中学校の給食費無償化

- ・令和7年度3学期の小学校給食費無償化
- ・民間保育所へ賄材料費の補助を実施
- ・国の交付金を活用して令和8年度から小学校給食費無償化

高校生世代までの医療費完全無償化

高校生世代までの医療費完全無償化実施

③チャレンジできる経済・産業

地元事業者が活躍できる取り組みの強化

- ・建設業における働き方改革推進のため、週休二日制を設定した工事発注件数48件 ↗
- ・ふるさと納税市内パートナー企業数119事業者 ↗
- ・企業版ふるさと納税を活用したベンチャー企業応援補助を実施
- ・市外のマルシェやイベントへの出店支援17件 →
- ・出展料補助した企業が出展時に獲得した新規取引件数174件 ↗

衣浦港を中心とした産業基盤のさらなる進展への取り組みを強化

- ・衣浦港外港地区の新たなふ頭整備の事業化を目指す、国県へ要望
- ・国道247号4車線化整備の促進

新たに起業する方への支援の拡充

創業チャレンジ支援補助7件 ↘

カーボンニュートラルの推進

- ・海浜水族館(ぐるんちゃ)始め6施設のLED化
- ・スマートハウス設備設置費補助141件 ↘
- ・次世代自動車購入費補助金48件 ↗
- ・民間住宅省エネ改修補助40件
- ・中小企業カーボンニュートラル推進支援補助44件 →



④安心、安全な医療・福祉・介護

住み慣れた地域で支え合える仕組みづくりの検討

- ・市民活動センターにおける市民活動ニーズのマッチング49件ノ
- ・包括的な支援体制の構築のため、重層的支援体制整備事業を開始

フレイル対策など、健康寿命の延伸施策の強化

- ・地域包括支援センターの介護予防サロン、介護予防教室などに延べ1,310名参加ノ
- ・筋トレルーム60延べ利用者数44,687人ノ
- ・後期高齢者の健診受診率45.1%ノ ・健康教育講座、教室参加者数延べ780人ノ
- ・通いの場における医療専門職によるフレイル対策の健康教育などの参加者数延べ1,218人ノ



⑤命が守られる防災・減災

災害関連死を防ぐ避難所の環境整備及び民間との連携強化

- ・新たに2件の災害支援協定を締結
- ・新たな防災倉庫建設による備蓄環境の整備に着手
- ・長野県須坂市、徳島県小松島市と災害時相互応援協定を締結

フェーズフリーの意識を高める取り組みの推進

- ・フェーズフリーの市民意識啓発のため、市LINE公式アカウントを活用した情報発信、出前講座開催(出前講座全6回218人参加)
- ・小中学校、公民館など20施設のAEDを屋外移設し、いつでも誰でも対応できるよう整備

⑥誰1人取り残さない持続可能なまちづくり

若者との対話や事業への参画の推進

- ・青年団体HEXPO STAFFの5人との座談会「碧南の今とこれから」を実施
- ・青年団体HEXPO STAFFによるプレイメイト活動事業の参加者数延べ100人ノ

手話などを用いた障害者とのコミュニケーションづくりの推進

- ・広報へきなんに「手話で表現してみよう!」を連載
- ・手話通訳の相談回数14件ノ ・手話通訳者養成研修参加者数20人ノ
- ・市職員の手話講座受講者数60人ノ ・手話リンクの導入 ・意思疎通支援システムの導入



⑦未来へつなげる行財政改革

時代に合った効果的・効率的な市政運営の実施

- ・民間提案制度を導入、民間提案件数2件
- ・提案型ネーミングライツの募集を開始
- ・企業版ふるさと納税を活用した新たな財源の確保 寄附企業23社ノ
- ・新たに3件の包括連携協定を締結
- ・利用者負担の適正化のため公共施設使用料などの見直しを実施
- ・市役所、保健センターの開庁時間を変更

公共施設の在り方の検討

- ・公共施設等総合管理計画の改定に着手

DXを活用した市役所運営の効率化

- ・あいち電子申請システムにキャッシュレス決済機能を追加
- ・市民課や税務課証明手数料、プチ保育などキャッシュレス決済拡大
- ・実証実験を経て、生成AIの本格導入を実施
- ・コンビニ交付利用14,310件ノ

⑧今ある課題への取り組み

保健センターの移設先の検討

公共施設等総合管理計画の改定に併せて、今後の施設の在り方を検討

車を利用できない方の移動手段を確保

- ・くるくるバスのバス停の新設、移設、ダイヤ改正による利用環境を改善
- ・福祉タクシー料金助成事業、高齢者タクシー料金助成事業の利用方法見直し

市民病院の在り方を多方面から検証

経営強化プランに掲げたアクションプランの推進並びに市の非常事態宣言に伴う緊急行財政対策の重点対策項目を踏まえた経営改善の実施

碧南中央駅の周辺整備と北新川駅周辺開発の検討

- ・碧南中央駅前広場の整備完了
- ・北新川駅周辺まちづくり基本構想の策定